

報道関係各位  
プレスリリース

2018年12月10日

## 世界史を変えた海賊—ならず者か英雄か

ウォルト・ディズニー映画『パイレーツ・オブ・カリビアン』や人気漫画『ONE PIECE』で描かれる海賊たちは犯罪者にもかかわらず英雄として描かれ、海賊行為が歴史ロマンとして描かれて人気を博しています。なぜイギリスや欧米社会では海賊が英雄として美しく描かれているのでしょうか。

取り立てて資金調達のための産業もなく、とても貧しかった16世紀のイギリスが大英帝国を築き上げた背景にあった「海賊マネー」。資金集めに貢献した大海賊のフランシス・ドレークがもたらした金額は、当時の国家予算三年分の60万ポンドにもあたるとされました。また1600年にはアジア地域の貿易独占権を持つ勅許会社「東インド会社」が海賊ら冒険商人によって設立され、イギリスはコーヒー・紅茶・スパイスの貿易で多くの資金を得ることができました。

国家が豊かさを目指して打ち出してきた領土拡大、技術革新、自由貿易とは違う“教科書にはない”やり方で豊かになろうとした海賊国家イギリスの実像に迫ります。



Sir Francis Drake フランシス・ドレーク  
(1543—1596)

スペイン無敵艦隊撃破、略奪で歴史に名を残す大海賊。

### 講師 竹田 いさみ（獨協大学外国語学部教授）

専門分野は海洋安全保障、国際関係。上智大学大学院国際関係論専攻修了、シドニー大学大学院およびロンドン大学大学院に留学。Ph.D.博士（国際関係史）取得。著書に『世界史をつくった海賊』、『世界を動かす海賊』など。アジア・太平洋賞特別賞、国際理解促進図書優秀賞、山縣勝美賞特別賞を受賞。大学では「ディズニー映画＜カリブの海賊＞を読み解く」、「スパイ映画 007 から読み解く世界」、「世界ブランドと国際関係」をテーマに、授業を担当している。

### 開催概要

- 日時：2019年1月30日（水）19:00～20:30（18:30 開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1,000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、  
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp  
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341  
ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/